

平成27年 死亡災害発生状況一覧表

宮崎労働局

番号	災害発生月	事故の型	起因物	業種	性別	年齢	経験期間	災害の概要
1	1月	激突され	立木等	木材伐出業	男	50代	10年	伐採現場において、被災者がチェーンソーを使用して杉を伐倒したところ、伐倒した杉が近くの切株に当たり、退避していた被災者の方に跳ね、被災者は跳ねた杉と近くあった立木との間に挟まれた。
2	1月	交通事故 (道路)	乗用車等	土木工事業	男	20代	1年	工事に使用していた資材に不具合が生じたため予備の資材を取りに、被災者はワゴン車に乗り会社事務所に向かった。被災者は、東九州自動車道を走行していたところ、中央分離帯から反対車線に進入し、対向車2台と衝突した。
3	3月	崩壊、倒壊	地山、岩石	土木工事業	男	40代	14年	遊歩道の手すりの改修工事において、ドラグショベルで手すりの基礎（コンクリート2次製品）を地中に埋め、余掘りの埋戻し作業を行っていたところ、作業場所上方法面の岩石等が崩壊し、ドラグショベルの周辺にいた被災者を直撃し、崩壊した岩石とともに約5m下の谷側に転落した。
4	3月	交通事故 (道路)	乗用車等	小売業	男	50代	30年	交差点において、被災者が右折のため信号待ちしていたところ、直進してきた加害者が運転する乗用車が被災者の乗用車後方に激突し、その衝撃で前方に突き飛ばされ被災者の前方で信号待ちしていた乗用車に衝突した。
5	5月	その他	起因物なし	ソフトウェア業	男	40代	23年	ソフトウェアの開発に従事していた被災者が、夜、自宅の庭において、過重労働により心停止を発症した。
6	6月	交通事故 (道路)	乗用車等	土木工事業	男	60代	40年	建設現場近くの県道で、ドラグショベル（0.2m）をトラックから降ろすため交通誘導を行っていたところ、走行してきた軽トラックにはねられた。
7	7月	墜落・転落	はしご等	バス業	男	70代	3年	被災者が高さ85cmの脚立に登って、中型バスの後部窓を清掃していたところ、しばらくたって地面に倒れているのを発見された。被災者は何らかの原因により脚立から墜落し、地面に頭を打ち付けたものと推定される。
8	7月	はさまれ、 巻き込まれ	コンベア	窯業土石製品 製造業	男	60代	5年	コンクリートの再生砕石を製造する機械の固定式ベルトコンベアを被災者と同僚の2人で補修を行い、補修が完了したので機械を再稼働した。被災者は一人でベルトコンベアの下部に移動したところ、駆動ローラー部分に右腕を挟まれ、切断した。
9	7月	墜落・転落	屋根等	建築工事業	男	40代	22年	4階建のショッピングセンターの屋上にある高架水槽の配管保温工事において、被災者が搭屋屋上で作業していたところ、搭屋と搭屋外周に設置してあった足場との隙間（約30cm）から約4m下のショッピングセンター屋上に墜落した。
10	10月	交通事故 (道路)	トラック	一般貨物自動車 運送業	男	30代	3年	被災者運転のトレーラー（20tの荷物を積載）が、片側1車線の右カーブで曲がりきれず電柱に衝突した。その衝撃でキャabinは大破し、被災者はシートとキャabin天井に身体が挟まれた。
11	10月	交通事故 (道路)	乗用車等	保険業	女	50代	1年	被災者が歩道を自転車で移動していたところ、後方から歩道を走行してきた軽乗用車にはねられた。
12	11月	激突され	立木等	木材伐出業	男	70代	9年	木材伐出現場における作業路網の開設作業において、ドラグショベルのバケット部分のフックにワイヤロープを掛け、伐倒木に玉掛けして引きずりながら搬送・集積を行っていたところ、作業路の奥で伐倒木の玉掛け作業を行っていた被災者が、引きずっていた伐倒木と山側法面との間に挟まれた。
13	12月	激突され	立木等	木材伐出業	男	60代	50年	林道脇の杉の立木（樹高28.8m、胸高直径60cm）を同僚が伐倒したところ、伐倒木が林道を歩いていた被災者の頭部に直撃した。
14	12月	はさまれ、 巻き込まれ	掘削用機械	トンネル建設工事業	男	20代	1年	トンネル切羽付近のズリ積み作業を終了したドラグショベルが、次の作業に向かうため後進したところ、ドラグショベル右後方に立ち入っていた被災者の両足を轢いた。